

食育通信

2024年(令和6年)5月15日
福山市立川口東小学校 No.2
(文責) 栄養教諭 黒川夕美

かたりあいわらいひろかる、たのしいしよくたく、うれいな

5月は、一日の気温差が大きい日、蒸し暑い日、涼しい日などがあり、体調を崩しやすい気候となっています。子ども一人ひとりには好みがありますが、食に関わる学習を通して旬の食べ物や行事食等の魅力を伝え、しっかり食べてほしいと願っています。

ふきのとう 第2学年 国語科

2年生は、国語科「ふきのとう」を通して、春のたべものについて学習しました。

ふきのとうは、成長するとフキになるよ。



タケノコが成長すると竹になるよね。



「おべんとうはこのうた」を聴いて分かったよ。すじ~のおったフキ最後にでてるね。

フキやタケノコをかんさつしたよ。

ちょっとくさくて、ひもみたいなすじがあったよ。さわるとチクチクしたよ。(中ざわなな)

葉のおもてとうらの色がちがったよ。おもてはみどり色で、うらはきみどり色だったよ。はじめて知ったよ。(伊田わかな)

葉はトトロのかさみたいだったよ。あながあいてたよ。(安保かいせい)

くきをおった時に、プチッとかわいい音がしたよ。(三島さや子)

においては、タケノコとにっていたよ。くきは細かったよ。(平 ゆう)

葉のおもてはザラザラしていて、うらはツルツルしていたよ。(黒本ひろと)



手ざわりはフワフワで、においはくさすぎたよ。いろいろさわって、かんさつできて。楽しかったよ。(久保みはる)

さわるとフワフワしていたけど、重かったよ。においはくさかったけど、食べてみたいよ。(福島りゅうや)

毛がはえているみたいだったよ。なすみたいな色だったよ。(旭おとは)



さわると、ちょっとベタベタでグチョッとしたり、フワフワしたりしてたよ。(喜田ことね)

先は、とがっていたよ。下の方はちょっと白くて、上の方は茶色と黒色がまざった色だったよ。たくさん知ることができて楽しかったよ。(新田まひろ)



タケノコを描こう 第2学年 図工科

ぐんぐん成長するタケノコをコンテを使って描いたよ。



タケノコを食べよう「筑前煮・たけのごはん」 給食の時間

旬のタケノコを食べて、みんながスクスク成長しますように。

「筑前煮」は、「タケノコを見つけたよ。」と言いながら食べる姿が見られました。

「たけのごはん」は、タケノコが主役だったため、「タケノコは、苦手。」と、つぶやく声がきこえましたが、給食を通して春の食べ物に触れ、味わいました。



ごちそうさまでした

私の生活、大発見 お茶をいれてみよう

第5学年
家庭科

5年生は、家庭科を通して家族とかかわり楽しく生活するために、家族の一員として生活をよりよくするための力を身に付けていきます。その一つとして、お茶について学びました。児童同士で湯のみ等を使用しながら、もてなし方を学習しました。

いれる



ポイント

- ①分量や濃さが同じにする。
- ②最後の一滴滴まで入れる。



きゆうすのふたを落とさないように、手をそえたよ。

言葉で気持ちを伝えたいよ。「どうぞ、ごゆっくり。」

出す



ポイント

- ①先にお菓子を左側に出す。
- ②次にお茶を右側に出す。

いただきます



湯のみ茶わんの持ち方を意識して飲んだよ。少し緊張したよ。

～感想～

同じ濃さにするために、お茶の入れ方にいろいろな工夫があることが分かりました。はじめは、茶葉が全て広がった後だったら、濃さも気にせず、工夫もせず入れれば良いと思っていました。(仁木橙和)

お茶を置く場所や順番などを勉強して家庭科に興味を持ちました。なぜ、置く場所がきまっているのか調べてみたいと思いました。(大浦姫桜嬢)

【自主学习】お茶の飲み方を調べよう。

今回の家庭科で、お茶の授業をするので、調べました。飲み方に、こんなにマナーがあることが分かって、驚きました。次の家庭科で生かしたいです。

まっ茶の飲み方 (一部抜粋)

- ①左手に茶わんをのせて右手をそえる。
- ②時計回りに2回まわして、3口から4口で飲む。
- ③飲み終わったら②を繰り返した後、茶わんを置く。
(久能和紗)

八十八夜のお茶 夏も近づく 八十八夜

「茶つみ」の歌の歌詞にてでくる「八十八夜」は、立春(節分の次の日)から数えて88日目のこと。

4月下旬から5月中旬にとるお茶を「新茶」と呼ぶ。甘味やうま味がつまみで、おいしい。

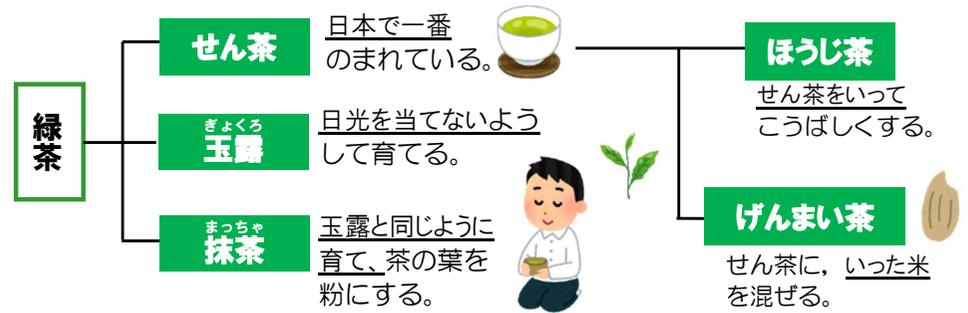


節分の次の日から88日後、今年は、5月1日だったね。



日本のお茶は「緑茶」

ほとんどが緑茶の仲間。そのうちの約3分の2は「せん茶」という種類。



種類とお茶の温度 種類によって、おいしい入れ方がちがう。

100度 げんまい茶・ほうじ茶

入れる時間は短く、かおりを楽しむ。

80度 せん茶

かおりだけでなく、しぶみやうまみをバランスよく楽しむ。

60度 玉露(ぎょくろ)

時間をかけて入れて、うまみを楽しむ。

(参考) お茶百科キッズ(伊藤園)HP

おいしい絵本

おちやのじかん



おちやのじかん

著者 土橋 とし子
出版社 佼成出版社

アルゼンチンのマテ茶、モロッコのミントティー、台湾の中国茶など、7種類のお茶やその国の作法が紹介されています。

おいしいお菓子をいただきながら、楽しいおしゃべりをして過ごすそれぞれの国のお茶の時間を知ることができます。